

島根県

防災安全講演会
～シニア災害ボランティアセミナー～
開催報告

平成28年1月16日(土)、島根県雲南市の本次経済文化会館「チェリヴァホール」にて島根県と当協会主催、雲南市共催、島根県社会福祉協議会後援による「防災安全講演会～シニア災害ボランティアセミナー～」が開催されました。

冒頭に主催者を代表して島根県防災部長岸川慎一氏と当協会の業務部長 山下稔が挨拶をし、続いて兵庫県立大学防災教育センター長 室崎益輝先生による基調講演、RUMIKO平和への願い代表 佐藤るみ子氏による事例発表が行われました。



室崎 益輝 氏

兵庫県立大学防災教育センター長
神戸大学名誉教授

兵庫県尾崎市出身。京都大学工学部卒業。神戸大学都市安全研究センター教授、独立行政法人消防研究所理事長、消防庁消防研究センター所長、関西学院大学災害復興制度研究所長を経て、2013年より現職。防災功労者内閣総理大臣表彰、日本火災学会賞などを受賞。

基調講演

13:40～15:10

増大する災害リスクに
社会はいかに向き合つか
～土砂災害とシニアボランティア～

兵庫県立大学防災教育センター長

神戸大学名誉教授 室崎 益輝 氏

基調講演では、最初に阪神・淡路大震災と東日本大震災で得られた教訓(①減災、②危機管理、③連携協働)についてのお話がありました。

続いて、「地球は50年周期で、危険な時代」と「平穏な時代」を繰り返しており、20年前の阪神・淡路大震災の頃から、危険な時代」に突入し、地震・噴火・水害等の大災害が増えています。自然が強くなって、社会が弱くなっている。こういう時代にこそ、シニアの方にも社会のなかで頑張っていただいて、年代を越えた人間の足し算が必要だ」というお話がありました。

そして、どうすればシニアの方たちが元気に活躍できるのか、その場をどう創っていく

のか、それがボランティアに繋がるし、地域の安全にも繋がっていくということで講演を締めくくられました。

事例研究

15:20～15:50

みんなで守ろう大切なもの
～東日本大震災に学ぶ～

RUMIKO平和への願い 代表

島根県砂防ボランティア協会

コーディネーター 佐藤るみ子氏

事例研究では、佐藤氏作曲の「大切な命」をピアノの弾き語りで披露。東日本大震災直後の被災地で撮影された映像を上映。東北でのボランティアを通じて経験したこと、感じたことが発表されました。



佐藤 るみ子 氏

RUMIKO 平和への願い代表

島根県砂防ボランティア協会コーディネーター

島根県隠岐の島町生まれ。35年間小学校教員として教鞭を執った後、55歳で退職。子どもへの支援活動を行うボランティア団体「RUMIKO 平和への願い」を立ち上げる。現在は東北と島根を行き来し、紙芝居や音楽活動を通して「命の大切さ」を子どもたちなどに伝えている。